



# かきぬひかり通信

～夢・あこがれをもち、たくましく未来を拓く子どもの育成～

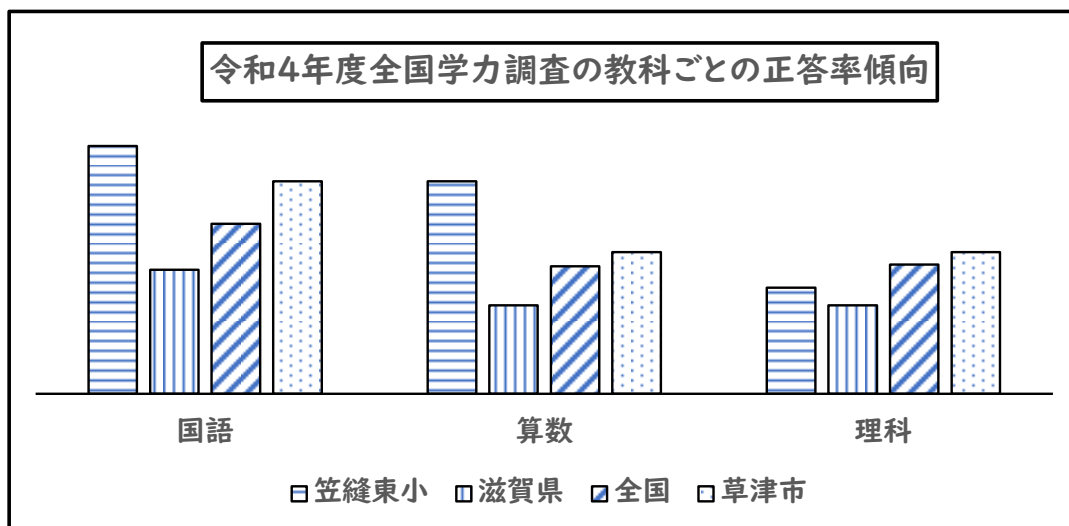
## 令和4年度全国学力・学習状況調査の結果が公表されました

昨年度は、例年より一か月遅れの5月末に実施された全国学力・学習状況調査でしたが、今年度は例年通りの4月19日（火）に実施しました。（実施の様子はWeb日記1学期から「2022年4月19日（火）」

【6年生】全国学力・学習状況調査を実施しました」をご覧ください）すでに結果が公表され、本校の結果についても学校だより9月号で概要をお伝えしたところです。今回は、学力調査に加え学習状況調査（児童質問紙）の結果についても、国・県・市の状況と併せてここでお伝えします。

### 学力状況調査の結果

下のグラフは、本校および国・県・市の学力調査（国語科・算数科・理科）の正答率傾向です。



国語科・算数科では、国・県・市の平均正答率を大きく上回り全国上位の地域と差のない正答率でした。国語科では、昨年同様『話すこと・聞くこと』で8.4ポイント、『読むこと』で4.9ポイントも全国的な平均正答率を上回っています。友だちの考えを最後まで聞く、自分の思いをしっかりと伝えることを大切にしてきた授業づくりの取組の継続が効果をあげていると考えます。

また、昨年度は『書くこと』に関する問題で、全国的な平均正答率から2ポイント下回っていましたが、今年度は0.8ポイント上回る結果になりました。結果、その他すべての観点や領域でも全国的な平均正答率を上回ることができたことは、国語科だけでなく他の教科の学習の中でも『文章の構成』を意識してレポートを書いたり学習のまとめをしたりすることを大切にしてきた成果だと考えます。

算数科でも、すべての観点や領域で全国的な平均正答率を上回っており、昨年度苦手としていた『数と計算』の領域においても、今年度はすべての問題で全国的な平均正答率を上回ることができました。

また、昨年も力を発揮していた『データの活用』に関する問題では、今年度は全国的な平均正答率を9.2ポイント上回っており、『目的に応じてデータの特徴を捉え考察すること』や『目的に応じてグラフを選択し、必要な情報を読み取ること』に力を発揮しています。普段から、調べ学習などでインターネット上のデータを取捨選択し、そのデータをグラフに表現するなどの経験が好成績の要因となっていると考えます。

一方3年ぶりに実施された理科については、全国の平均正答率を1ポイント程度下回る結果になっています。

これは、9月号の学校だよりも書きましたが、昨年度の休校や度重なる学年閉鎖の影響から国語・算数以外の教科に取り組む時間がギリギリになってしまったことが一因と考えられます。特に、「メスシリンダー」という器具の名称を問う問題を含む、『知識・理解』の観点では、全国的な平均正答率を8.7ポイント下回っており、早急な確認・学び直しが必要と考えます。授業の中だけでなく、家庭学習やタブレットPCを活用した反復学習を計画的に進めていきます。

## 学習状況調査の結果

次に、本校の学習状況に関する質問紙の結果で特徴的なものを表で示します。数値は4段階の「そう思う」「当てはまる」「ややそう思う」「やや当てはまる」の肯定的な回答の割合(%)です。

経年の比較は、昨年度調査の集計と比較したものです。

(1) 経年で向上し、全国と比較しても強みが見られる児童質問紙項目	数値は質問に対して「当てはまる」「やや当てはまる」と肯定回答をした児童の割合(%)				
	本校R03	本校R04	経年差(pt)	全国R04	R04全国との
PC・タブレットなどのICT機器を週3回以上使用しましたか	68.4	78.1	9.7	58.2	19.9
授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間になっていましたか	82.6	89.0	6.4	79.7	9.3
学校に行くのは楽しいと思えますか	80.6	90.4	9.8	85.4	5.0
将来の夢や目標を持っていますか	80.6	82.2	1.6	77.4	4.8
自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	63.3	69.8	6.5	65.4	4.4
課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	79.6	80.8	1.2	77.3	3.5
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	98.0	100.0	2.0	96.8	3.2
人が困っているときは、進んで助けていますか	87.8	91.8	4.0	88.9	2.9
自分には、よいところがあると思えますか	78.5	79.4	0.9	79.3	0.1
<参考>					
今住んでいる地域の行事に参加していますか	72.4	65.8	-6.6	52.7	13.1
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	64.2	60.3	-3.9	51.3	9.0

(2) 全国と比較して本校の強みまたは弱みが顕著に見られる児童質問紙項目	数値は質問に対して「当てはまる」「やや当てはまる」と肯定回答をした児童の割合(%)		
	本校R04	全国R04	R04全国との差(pt)
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思えますか	94.5	87.1	7.4
読書は好きですか	80.8	73.1	7.7
理科の授業の内容はよく分かりますか	95.9	88.5	7.4
理科の勉強は好きですか	86.3	79.7	6.6
学校が休みの日に1日当たり2時間以上勉強をしますか	17.8	26.2	-8.4

(3) 調査教科についての質問のうち経年変化、全国比較ともに課題が見られる児童質問紙項目	数値は質問に対して「当てはまる」「やや当てはまる」と肯定回答をした児童の割合(%)				
	本校R03	本校R04	経年差(pt)	全国R04	R04全国との
国語の勉強は好きですか	59.2	56.2	-3.0	59.2	-3.0
国語の授業の内容はよく分かりますか	88.7	78.0	-10.7	84.0	-6.0
算数の勉強は好きですか	63.3	58.9	-4.4	62.5	-3.6
算数の授業の内容はよく分かりますか	86.7	78.0	-8.7	81.2	-3.2

(1)「学校に行くのが楽しい」の肯定的回答が大幅に増えるなど現代の学校が抱えている諸課題について改善が目立っています。新型コロナウイルスの影響が地域社会との関連項目で、経年変化は減っていますが、それでも全国と比較すると高い水準を維持しています。

(2)全国的には「読書が好き」「よいところを認めてくれる」の肯定的回答が多い学校は、学力調査の結果も高いという分析がなされています。また、理科の学習に関しては肯定的回答が多いことと学力調査の結果が結びついていない点が気になります。また、休日の学習時間については、計画的な学習計画を立てるなどの改善が必要と考えます。

(3)国語科や算数科の学習に関する「好き嫌い」「分かる分からない」の肯定的回答が大きく下がっていますが、教科の大切さや役立つことは理解しており、学力調査の結果も良好です。教科としての苦手感が強く、もっと頑張らないかという気持ちが強いのかもしれません。学習がすき・楽しい・よくわかるという声ももっと増えるよう、校内での研修などで力をつけていきたいと思えます。

校長 古谷 匠(ふるや たくみ)